

タイトル…『ファニーたい焼きトム52  
ブルーベリージャム』

**第一幕：たい焼きトムの新たな挑戦**

（舞台は東京都内の小さなたい焼き屋

「たい焼きトム」。店の外観はカラフル  
でアメリカなポップな雰囲気漂う。

朝、開店準備中の店内）

（トムが厨房でリズムカルに歌いながら  
たい焼きを焼いている）

トム（歌いながら）：「ブルーベリー！  
ジャムジャムジャム！楽しいたい焼き、  
どんだん焼ける〜」

（魚住は掃除をしながら、トムのテンシ  
ョンに困惑している）

魚住：「：朝から飛ばしてますね：」

トム（陽気に）：「魚住！今日の新作た  
い焼きの準備はできてるか？」

魚住（ため息混じりに）：「トムさん：  
本当にやるんですか？ブルーベリージャ  
ムたい焼き：」

トム（自信満々）：「もちろん！ブルー  
ベリージャムはアメリカ人のソウルフー  
ドだ！これは革命的なたい焼きになる  
ぞ！」

魚住（困惑しながらも材料を用意）：「お  
客さんが受け入れるかどうか：」

（準備が整い、店のシャッターが上がる。  
最初のお客が入ってくる。）

## 第二幕：最初のリアクション

（朝のピークタイム。常連客たちがぞろ  
ぞろとやってくる。）

常連客 A (40代、サラリーマン) : 「お、今日は新作か？毎回楽しみにしてるんだよ！」

トム (誇らしげに) : 「イエス！ブルーベリージャムたい焼きだ！甘くてフルーティー、まるでアメリカンブレックファーストたい焼きだぜ！」

(常連客 A が一口かじる)

常連客 A : 「!? うおおお！なんだこれ：皮はパリッとしてるのに、中からトロ〜りとブルーベリージャムがあふれてくる：！甘酸っぱくて濃厚なジャムが口いっぱい広がって：これ：朝飯に最高すぎるだろ！」

(次に常連客 B が試す)

常連客 B (50代、主婦) : 「どれどれ…うん、皮の香ばしさとこのブルーベリー

の甘酸っぱさが絶妙！しかも噛むたびに、  
ジャムの粒々感が舌に感じられて、なん  
て贅沢なの！」

大学生：「SNSで話題になってるって聞  
いたんで、試してみます！」（一口食べ  
ると目を見開く）「えっ…うわっ、すご  
い！果実感がダイレクトにくる！口の中  
がまるでブルーベリー畑だ！」

TO客：「これ、紅茶と合わせたら最高じ  
ゃない？アフタヌーンティー感ある！」  
（店内は絶賛の声に包まれる。魚住はホ  
ッとするが、トムはまだ納得していない  
様子）

第二幕終了

第三幕：テレビ局で話題に

（翌日、SNSで拡散され、若者たちが押し寄せる）

女子高生グループ：「ブルーベリーたい焼き！めっちゃ可愛い！しかも写真映えする！」

（そこへテレビ局の社員たちがランチ休憩でやってくる）

テレビ局社員A（30代、ディレクター）：  
「なんか最近、疲れが取れないんだよな…目もしょぼしょぼするし…」

テレビ局社員B（20代、AD）：「先輩、これ試してみてくださいよ！なんかSNSで、眼精疲労に効く…ってバズってます！」

（社員Aがかじる）

テレビ局社員A：「……！！な、なんだこれは…！？甘酸っぱさが脳を刺激して、

目の奥がシャキーンとする！今まで食べたどのたい焼きよりも、リフレッシュ感がすごい！」

テレビ局社員C(40代、プロデューサー)：  
「ほう：ブルーベリーのアントシアニン効果か？：このたい焼き、うちの健康情報番組で特集しよう！」

(数日後、テレビ番組で紹介される)

アナウンサー：「今話題の：眼精疲労に効く！？ブルーベリージャムたい焼きが、働く現代人の救世主に！果たしてその実力は！？」

(放送を見た魚住とトム)

魚住：「ええええ！？こんな健康効果があるって！？全然考えてなかったですよ！」

トム（大笑い）：「ファニーだろ！？でも：結果オーライ！たい焼きは人をハッピーにするものだからな！」

（店の外では若者たちやサラリーマン、OLたちが長蛇の列を作り、話題はさらに広がる）

### 第三幕終了

### 第四幕：更なる進化！

（連日、大盛況。しかし、トムはまだ何か考えている様子）

トム：「魚住、俺はもっと進化したい！次はホイップクリームを追加して、ブルーベリーホイップたい焼きを作ろう！」

魚住：「ええ！？もう次のアイデア！？でも：確かに美味しそうかも！」

（試作を開始し、ホイップをトッピングしたたい焼きを作る。常連客も巻き込んで試食会をする）

常連客 A：「おお！ホイップのコクがプラスされて、まるでスイーツ！」

常連客 B：「新感覚！これはヒット間違いなしね！」

（トム、魚住、常連たち、全員が大興奮）

#### 第四幕終了

#### 第五幕：大成功のエンディング

（ブルーベリージャムたい焼きと、進化版のホイップたい焼きがメニューに並び。店はさらに賑わう）



トム（大満足）：「これが：ファニーたい焼きの真髓だ！楽しくて、美味しくて、みんなが笑顔になる！」

魚住（笑顔）：「次はどんなたい焼きを作りますか？」

トム：「よし、次は：ストロベリーチョコたい焼きだ！」

（店の前には行列が続き、物語は明るく幕を閉じる）

終幕